



公益社団法人 日本バス協会

〒100-0005
東京都千代田区丸の内 3-4-1
新国際ビル 9 階

バス事業のカスハラ防止啓発ポスター第4弾を作成しました

公益社団法人日本バス協会（東京都千代田区、会長：清水一郎）は、カスタマーハラスメント（以下「カスハラ」という。）の防止に向けた啓発ポスターの第4弾（以下参照）を作成し、全国の会員事業者に配布しました。順次、車内や案内所等に掲出されます。

当協会では、令和6年9月にバス事業のカスハラに対する基本方針（次頁参照）を公表し、バス業界として毅然とした態度で対応することを表明しました。その際に併せて、啓発ポスターの第1弾を作成し、以降、3月の第3弾まで公表しておりますが、今回はそれに続く第4弾となります（第1弾～3弾のポスターは次頁参照）。

啓発ポスターは、全国の子バス事業者から寄せられた実際にあったカスハラ事例に基づいて作成しています。お客様からの過度な要求によってバスの運行等に支障が生じているケースを広く周知することで、カスハラの抑止を図ります。

【第4弾】「乗るから開けて」



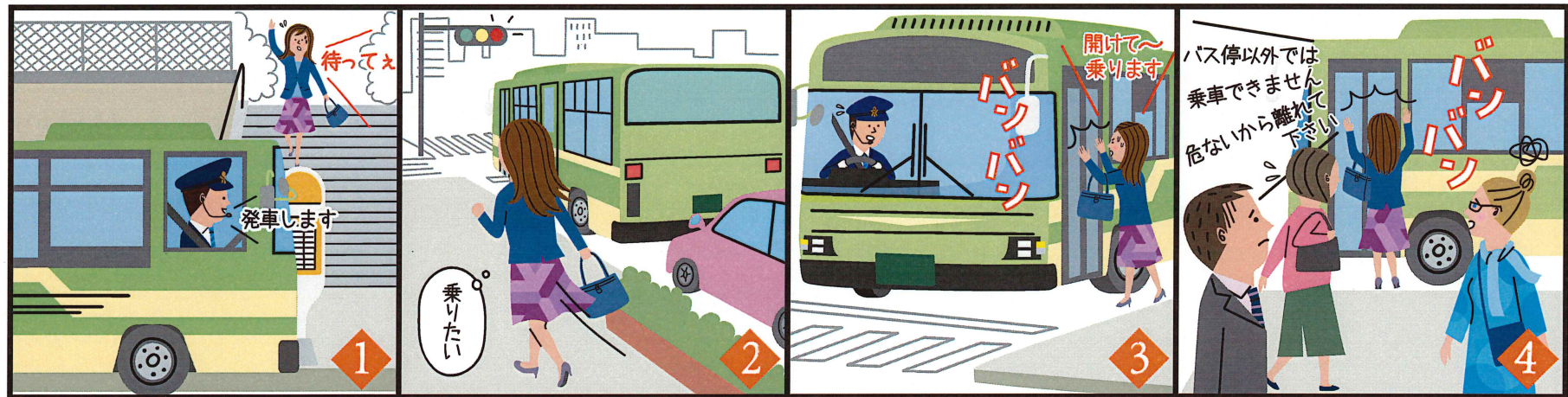
（3頁目に当ポスターを掲載しております。他のファイル形式をご入用の際は弊協会担当までご連絡ください。）

相当：泉・田知花(タチバナ)

ご利用の皆様へ

これからも安心・安全なバスを運行していくためのお願いです。

(全国のバス事業者から寄せられた発生事例のうち代表的な事例に基づいています)



原則として、バス停以外では乗り降りできません。
ご理解・ご協力をお願いいたします。



日本バス協会